



小学校中学年《3・4年生》のみなさんへ

冬休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2018年版]

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
絵本	<p>「忘れても好きだよおばあちゃん!」</p>  <p>ダグマー・H.ミューラー 作 フェレナ・バルハウス 絵 ささき たつこ 訳 あかね書房</p>	<p>お花を買った事も、せんたくきの使い方も、なんでもすぐにわすれてしまうおばあちゃんはアルツハイマーという病気なのです。でも、かぞくはおばあちゃんが大好きで、病気のおばあちゃんをあたたくみまもっていきます。</p>
絵本	<p>「ぼくの天国ポスト」</p>  <p>寺井 広樹 原作 志茂田 景樹 作 福田 岩樹 絵 絵本塾出版</p>	<p>大じんが起きて、たけるは大好きなおばあちゃんと、だいじな友だちだった犬のポロをなくしました。ある日、おばあちゃん家のげんかんのあとに、「天国ポスト」と書かれたものを見つけました。しんじられない思いでしたが、いつも持ち歩いているおばあちゃんへの手紙を入れてみると…。</p>
絵本	<p>「3びきのかわいいオオカミ」</p>  <p>ユージーン・トリビザス 文 ヘレン・オクセンバリー 絵 こだま ともこ 訳 富山房</p>	<p>3びきのかわいいオオカミは、広い世界に出ていって、自分たちのおうちを作るようになりました。でも、オオカミたちの作ったレンガのおうちは、とんでもなく悪いおおぶたがあらわれて、こわしてしまいます。「3びきのごぶた」をもとにした、楽しい絵本です。</p>
絵本	<p>「星どろぼう」</p>  <p>アンドレア・ディノ 文 アーノルド・ローベル 絵 やぎた よしこ 訳 ほるぷ出版</p>	<p>星にさわりたいく仕方がなかったどろぼうは、空にはしごをかけて、星を全部ぬすんでしまいました。村人たちが空を見上げると、月だけがぼつんとうかんでいたの、「星がどこかにいっちゃった!」と、みんなびっくりぎょうてん!ぬすまれた星は、無事空へともどれるのでしょうか。</p>
図書	<p>「フランダースの犬」</p>  <p>ウィーダ 作 濱野 京子 文 小松 咲子 絵 ポプラ社</p>	<p>やさしいおじいさんと少年ネロに、命を助けられた犬のパトラッシュ。ネロとパトラッシュはまずしい中、兄弟のように育ちました。絵をかくのが大好きなネロにはひそかなゆめがあり…。犬と少年のかたいきずなの物語です。</p>

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
図書	<p>「みんなでつくる1本の辞書」</p>  <p>飯田 朝子 文 寄藤 文平 絵 福音館書店</p>	<p>「1本」と数える時、大根も1本、電車も1本、柔道(じゅうどう)の勝負も1本、だけど理由を聞かれてもちゃんと答えることができません。「本」という数え方を、さまざまなモノの歴史をわかりやすくしょうかいしています。</p>
図書	<p>「図書館のトリセツ」</p>  <p>福本 友美子 著 江口 絵理 著 スギヤマ カナヨ 絵 講談社</p>	<p>図書館には、時間わりも宿題もありません。図書館では何かをしなくちゃいけない、ということは1つもない、自由な場所なんです。本のさがし方から、自由けんきゅうや調べ学習まで、初めて図書館を利用するためのガイドブック登場!</p>
図書	<p>「ちゃあちゃんのむかしばなし」</p>  <p>中脇 初枝 再話 奈路 道程 絵 福音館書店</p>	<p>「ちゃあちゃん」こと中脇初枝さんのふるさと、高知県につたわる昔話がみんなが楽しめるように、共通語で書かれています。知ってる昔話とは同じようで、ちょっとちがうふしぎなお話がたくさん入ってます。</p>
図書	<p>「小学校がなくなる!」</p>  <p>麻生 かつこ 作 大庭 賢哉 絵 文研出版</p>	<p>彩(あや)が通っている都小学校は、お父さんやおばあちゃんも卒業した古い小学校で、どの学年も1クラスしかありません。とつぜん都小学校が廃校(はいこう)になると発表され、「小学校をこわさないでください」と市長さんをお願いに行くことになりましたが…。</p>
図書	<p>「命はどうしてたいせつなの?」</p>  <p>大野 正人 作 ハラ アツシ 絵 出口 保行 監修 汐文社</p>	<p>命は大切なものだけど、人間は自分が生きるためにたくさんの命をうばって食べています。ときには、自分の命でさえ大切にできなくなるのは、どうしてでしょう…? 感じたり、かんしゃをしたり、ものごとの意味をよく考えたり、思いやりの心を育ててくれる本です。</p>